

## 第36回 現代世界の地誌的考察

## ■■ 現代世界の諸地域編 ■■

## 世界のさまざまな地域を見てみよう

～アングロアメリカ ①～

監修・講師

矢ヶ崎典隆

## 学習のねらい

アングロアメリカはアメリカ合衆国とカナダから構成され、広大な土地と豊かな資源に恵まれる地域である。どちらの国も、ヨーロッパから移住した人々によって建国された。広大な面積に比べて人口が少なかったため、世界中から移民を受け入れて産業が発展し、多民族社会が形成された。自然と資源の特徴や社会と産業の発展について考えてみよう。

## 今回のポイント

- 多様な自然と資源
- 多民族社会の形成
- 都市の活力と都市問題

## ■■■ 多様な自然と資源 ■■■

北回歸線の北に位置するアングロアメリカでは、東西と南北の気候の地域差が顕著である。西経 100 度線あたりを境にして、降水量は一般に東側で多く、西側で少ない。フロリダ半島には熱帯モンスーン気候がみられる一方、高緯度の気候は亜寒帯湿潤気候やツンドラ気候である。地形をみると、西側にはロッキー山脈などの山脈が連なり、高度が高い一方、東側は相対的に低く、中央部には低地が広がる。東側の森林地域では、ヨーロッパの農業様式が導入されて開拓が進行し、農業地域が形成された。プレーリーと呼ばれる草原の広がる中央部は穀倉地帯となった。開拓の進行に伴って自然は大きく改変されたが、国立公園を設置するなどして、自然保護にも関心が寄せられている。鉱産資源にも恵まれ、石炭、石油、鉄鉱石などが経済発展の基盤となった。さらに最近では、シェールガス・シェールオイルの開発が盛んである。時代によって異なる資源が活用され、産業の発展が継続してきた。

## ■■■ 多民族社会の形成 ■■■

南北アメリカ大陸にはもともと先住民が暮らしていたが、15 世紀末のコロンブスの到来を契機として、先住民の世界は大きく変化した。17 世紀に入ると大西洋岸でヨーロッパからの移民が植民を開始し、開拓が奥地へと進行するにつれて、先住民は西へと追いやられた。また、労働力の不足を補うために、アフリカから奴隷が導入された。さらに、1970 年代からは、多様な人々や文化に対する寛容度が増すと、アジアやラテンアメリカから多くの人々が移住するようになった。このような移民は、産業の発展や文化の形成に大きく貢献している。また、継

続する移民は、将来、アメリカとカナダの人口構成に変化を及ぼすことだろう。なお、どちらも多民族社会であるが、国家の成立と展開には相違点もある。イギリスとの独立戦争をへて建国されたアメリカに対して、カナダはイギリス的な文化と社会秩序を維持するとともに、フランス系社会との共存をめざして多文化主義の道を歩むことになった。

### ■ ■ 都市の活力と都市問題 ■ ■

多様な人々によって活発な経済活動が展開するのは都市である。20世紀に工業化が進行すると、人口の多くは都市に居住するようになった。一般的にアメリカの都市では、都心周辺部に工場が立地し、移民はまず工場地区に近接した家賃の安い地区に居住して工場労働に従事した。経済的に豊かになった人々は、生活環境の良くない地区を離れて、外側の住宅地に移動した。移民の労働力は鉄鋼業や自動車などの製造業の発展に重要な役割を果たした。一方、産業構造が変化し、経済に占める製造業の割合が低下して経済サービス化が進むと、都心周辺部の工場は閉鎖され、失業者が増大した。郊外では情報技術関連の新しい産業が展開し、オフィス街や住宅地が新たに形成された。ここには既存の商業施設がなかったので、新たに建設されたショッピングセンターは、郊外に住む人々の消費と交流の場となっている。アメリカの都市では、衰退する都心周辺部と発展する郊外が対照的な存在である。